

和泉市こども・子育て支援に関するニーズ調査の概要(速報)

1. 和泉市こども・子育て支援に関するニーズ調査の概要

調査方法

調査票を郵送により配布し、記入していただいた調査票を郵便で返送する方法と WEB で回答していただく方法を併用して実施。

調査期間

令和6年4月1日～19日

調査対象者数と回答状況

調査対象		就学前のこども	小学生
配布数		3,000	1,600
回収数	郵送回答	953 (31.8%)	490(30.6%)
	WEB 回答	445(14.8%)	314 (19.6%)
	計	1,398	804
回収率		46.6%	50.3%

2. 就学前のこどもの調査結果

① こどもとご家族の状況について

- 同居家族は、母親が 92.3%、父親が 90.3%となっている。
- 子育て分担については、「お母さんが中心でお父さんも手伝っている」(50.5%)がもっとも多く、次いで「ほとんどお母さんが担っている」(27.8%)、「両親が平等に分担している」(19.5%)の順になっている。

② お母さん、お父さんの就労状況について

- 父親の 96.4%がフルタイムで働いており、「産休・育休・介護休業中」はほとんどいない。
- 母親の 30.0%がフルタイムで働いており、フルタイムで「産休・育休・介護休業中」12.2%となっている。
- 母親のパート・アルバイトは 27.5%だが、パート・アルバイトで「産休・育休・介護休業中」はほとんどいない。以前は就労していたが、また「現在は就労していない」が 25.6%となっていることから、パート・アルバイトで働いている母親が出産・育児をきっかけに退職しているものと思われる。
- パート・アルバイトで働いている母親の 35%がフルタイムへの転職を希望しているが、実現する見

込みがあると回答している母親は少ない。

- 働いていない母親の 80%近くが就労を希望しており、そのほとんどがパート・アルバイトと回答している、

③ お母さんの妊娠時の状況と希望のこども数について

- 出産前後に離職した母親は 24.5%であり、その内、「働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた」が 19.9%、「制度や環境に関係なく、自発的にやめた」が 33.3%となっている。
- 妊娠、出産で精神的に不安定な母親は「時々」を含めて 56.7%と、半数を超えている。
- 妊娠、出産での困りごとは「つわりがひどくて家事等が大変だった」「上のこどもの世話」「産後のご自身の健康状態がよくなかった」が多い。
- こどもが3人以上、または多胎児の子育てでもっとも有効な支援は「育児用品への経済的支援」となっている

④ こどもの育ちをめぐる環境について

- 子育てについて「相談できる人は「親せきや家族」(87.8%)、「友人・知人」(70.9%)が多く、サービス提供機関では「認定こども園」(18.4%)、「保育所」{11.5%}が多い。
- 定期的に利用しているサービスは「認定こども園」(51.9%)、「幼稚園」(19.5%)が多い。
- 平日・定期的に保育所等を利用している理由は「保護者が働いている」(63.5%)、「集団生活の中でルールを守ることを身につけさせるため」(51.3%)、「集団で遊び学ぶことを経験させるため」(49.5%)、「こどもの教育や発達のため」(42.0%)が多い。
- 平日・定期的に保育所等を利用していない理由は「ご自身や配偶者がお子さんの世話をしているため、利用する必要がない」(58.8%)、「こどもがまだ小さいため〇〇歳くらいになったら利用しようと考えている」(38.4%)が多い。
- 平日・定期的に利用したいと考えている事業は「認定こども園」(57.4%)、「幼稚園」(31.5%)、「認可保育園」(29.4%)、「幼稚園の預かり保育」(28.4%)が多い。

⑤ 幼稚園や保育所などの土曜・休日や長期休暇中の定期的な利用希望について

- 保育所などの利用希望は、土曜日が 36.1%、日・祝日が 15.4%となっている。
- 「月に1~2回は利用したい」理由は「月に数回仕事が入るため」(68.6%)が多い。
- 幼稚園利用者の内、夏休み・冬休みなどの利用希望は 37.1%で、すでに利用しているを合わせた 56.6%が利用意向を示している。

⑥ 幼稚園や保育所などの不定期な利用や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

- 一時預かり等の利用状況は 78.8%が利用していません。
- 時預かり等の利用希望は 43.0%が利用したい意向を示しており、利用希望日数は「10 日以

下」(44.6%)がもっとも多い。

- 一時預かりを利用する場合、望ましいと思うサービスは「幼稚園・保育所などの大規模施設で子どもをみてるサービス」(84.0%)が多い。
- 短期入所生活支援事業(省一とステイ)の利用意向は 10.7%で、利用希望日数は「10 日以下」(52.3%)がもっとも多い。
- 保育所などに預ける適切な時間は「6時間～8時間まで」(47.4%)がもっとも多い。

⑦ 平日の教育・保育を利用しているこどもの病気の時の対応について

- こどもが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことがあったと回答した割合は 70.9%で、その際の対応は「お母さんが休んだ」(79.5%)、「お父さんが休んだ」(34.7%)、「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人に子どもをみてもらった」(30.4%)が多い。
- 母親もしくは父親が休んだ人で「病児保育施設等を利用したい」と回答した割合は 34.2%で、使用したいと思わない」(45.0%)を下回っている。
- 「病児保育施設等を利用したい」と回答した人が望むサービスは「小児科に併設した施設で子どもをみてるサービス」(81.5%)、「幼稚園・保育所などに併設した施設で子どもをみてるサービス」(67.4%)が多い。
- 病児保育施設等を利用したいと思わない理由は「病気の子どもを家族以外の人にみてもらうのは不安である」(63.6%)、「利用料がかかる、高い」{40.5%}、「保護者が仕事を休んで対応できるため」(36.4%)が多い。

⑧ 地域の子育て支援事業の利用状況等について

- 子育て支援事業の利用状況は「いずみ・エンゼルハウス」(6.7%)がもっとも多いが、「いずみエンゼルハウスや子育て支援センターなどを知っているが、利用していない」は 61.5%となっている。
- 子育て支援事業の利用意向は「今後利用したい」は 13.2%、「利用日数を増やしたい」は 5.2%となっている。
- 子育て支援事業で希望するサービスは「常設の子育て親子の交流の場・遊びの場の提供」(87.5%)が多い。
- 国が検討している「子ども誰でも通園制度(仮称)」の利用意向は 74.8%で、「曜日や時間を固定せず、月10時間の範囲で自由に利用したい」(37.8%)が多い。

⑨ 小学校就学後の放課後の過ごし方について(こどもが5歳以上の方への質問)

- 低学年の時に過ごさせたい場所は「放課後児童クラブ(学童保育)」(56.4%)、「自宅」(43.2%)、「習い事」(32.4%)が多い。
- 高学年になったら過ごさせたい場所は「自宅」(67.4%)、「習い事」(49.3%)、「放課後児童クラブ」(26.0%)が多い。

- 低学年の時の放課後児童クラブの利用希望は「平日」(91.9%)、「長期休み」(62.8%)が多い。
- 高学年になった時の放課後児童クラブの利用希望は「平日」{82.5%}、「長期休み」(57.9%)が多い。
- 放課後児童クラブで実施して欲しい活動は「学習活動の援助」(82.4%)、「遊び」(60.9%)、「スポーツ」(56.3%)が多い。

⑩ 仕事と子育ての両立支援について

- 子どもが生まれたとき、母親は「育児休業を取った」(48.8%)が多く、父親は「育児休業を取らずに働いた」(72.5%)が多い。
- 母親が育児休業を取らなかった理由は「仕事が忙しかった」(23.5%)、「収入減となり、経済的に苦しくなる」(23.5%)、「仕事に早く復帰したかった」(17.6%)、「職場に育児休業の制度がなかった」(5.7%)が多い。
- 父親が育児休業を取らなかった理由は「仕事が忙しかった」(39.4%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(32.8%)、「収入減となり、経済的に苦しくなる」(30.1%)が多い。
- 母親が育児休業を取らずに離職した理由は「子育てや家事に専念するため退職した」(29.0%)、「仕事に戻るのが難しそうだった」(17.8%)が多い。
- 育児休業取得後に職場復帰した母親は 72.6%、父親は 90.6%となっている。
- 「仕事と生活の調和」「ワーク・ライフ・バランス」の認知状況は「詳しく知っている」が 17.3%、「少しは知っている」が 24.7%となっている。
- 仕事と家事(育児)のバランスでは「家事(育児)時間を優先」が半数を超えているが、「理想」は「プライベート時間を優先」(27.0%)したいものの、「現実」は「仕事時間を優先」(31.1%)せざるを得ない状況が見られる。

⑪ こどもの生活状況について

- 朝ごはんを「毎日食べる」と回答した割合は 91.1%で、1日1回は家族と一緒に食事をする回答した割合は 94.7%となっている。
- 平日にテレビ・スマートフォンを見る時間は「1 時間以上 2 時間未満」(35.0%)、「2 時間以上 4 時間未満」(36.1%)が多い。
- 就寝時間は「20 時半～21 時」(24.7%)、「21 時～21 時半」(30.3%)が多い。
- 乳幼児健診でこどもの発達について、何らかの指摘を受けたことが「ある」は 15.8%で、指摘を受けた後の対応は「保健センター・保健福祉センターを利用した」(67.4%)、「ふたば幼児教室を利用した」(33.0%)、「病院(発達検査)を受診した」(23.5%)が多い。
- 障がい者手帳等の所持については「療育手帳」(1.4%)がもっとも多く、いずれかの手帳を所持している人の割合は 2.3%となっている。

⑫ 子育てに関する経済的なことについて

- 経済的な理由で経験したことについては、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」(39.8%)、「趣味やレジャーの出費を控えた」(39.7%)、「理髪店・美容院に行く回数を減らした」(33.1%)、「友人・知人との外食を控えた」(27.5%)、「食費を切りつめた」(25.8%)「冷暖房の使用を控えた」(20.0%)が多い。
- 経済的な理由で経験したことが一つでもあると回答した 63.9%の家庭は生活費を切り詰めていると思われる。
- こどもの進学についての希望は「大学・短期大学」(64.7%)が多い。
- 66.0%がこどもの将来のための貯蓄をしている。
- 子育てに影響すると思われる環境は「家庭」(93.6%)、「地域」(47.1%)が多い。
- 近所にこどもの世話をする人が「いる」は 61.2%、「いない」は 23.9%となっている。
- 子育てについて「楽しいと感じることのほうが多い」は 62.9%で、「つらいと感じることのほうが多い」は 3.5%となっている。
- 子どもについての悩みは「食事や栄養に関すること」(37.5%)、「こどもとの教育に関すること」(31.7%)、「こどもと過ごす時間が十分取れないこと」(26.9%)、「病気や発育発達に関すること」(26.8%)が多い。
- 自身についての悩みは「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」40.1%)、「子育てにかかる出費がかさむこと」(37.4%)、「様々なストレスなどからこどもにきつくあたってしまうこと」(30.4%)、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」(29.0%)が多い。
- 地域の人に支えられていると感じている人(48.1%)が誰から支えられていると感じているかについては、「幼稚園、保育所、認定こども園、地域子育て支援拠点などの職員」(74.9%)、「同じ世代のこどもを持つ保護者」(50.4%)、「近所の人」(40.7%)が多い。
- 地域の人に支えられていると感じていない人(31.7%)が支えてほしいと感じているかについては、「幼稚園、保育所、認定こども園、地域子育て支援拠点などの職員」(15.3%)、「同じ世代のこどもを持つ保護者」(11.7%)が多い。

⑬ こどもの権利について

- こどもの権利について「名前も内容も知っている」は 31.0%
- こどもの権利で特に大切だと思うことは、「暴力や言葉で傷つけないこと」(71.4%)、「家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと」(63.9%)、「自分の考えを自由に言えること」(59.7%)が多い。
- こどもの意見や要望を聞き、取り入れるように意識しているかについては「常にしている」が 45.4%で、「ときどきしている」(44.8%)を合わせると 90.2%となっている。

⑭ 子育て環境や支援制度について。

- 子育て情報の入手方法は「保育所・幼稚園・学校」(56.1%)、「家族・親族」(54.9%)、「隣近

所の人・友人・知人」(52.4%)、「インターネット」(49.7%)が多い。

- 子育てに関する事業で利用したことがあるものは「育児教室、親子教室」(37.0%)、「保育所や幼稚園の園庭開放」(35.9%)、「保健センターの講習会や訪問、発達育児相談等の母子保健サービス」(29.5%)、「保健センターの妊婦教室(両親教室)」(23.8%)が多い。
- 子育てに関する事業で利用したいものは、「保育所や幼稚園の園庭開放」(13.9%)、「育児教室、親子教室」(13.7%)、「一時預かり事業」(11.7%)、「家庭教育に関する学級・講座」(10.1%)が多い。
- 和泉市の子育て環境や支援への満足度は5段階評価で「3点」(42.6%)がもっとも多く、平均点は3.16点となっている。
- 和泉市の子育て環境や支援で「評価できる点」は、「こどもの遊び場」(33.9%)、「子育て世帯への経済的な支援」(27.5%)、「図書館などの文化施設の整備」(26.7%)、「認定こども園の整備」(20.2%)が多い。
- 和泉市の子育て環境や支援で「もっと充実してほしい点」は、「こどもの遊び場」(52.1%)、「子育て世帯への経済的な支援」(47.1%)、「こどもがかかりやすい医療体制の整備」(28.7%)、「交通事故の危険防止対策」(28.6%)、「子育てに配慮された公共施設の整備」(26.3%)が多い。

3. 小学生の調査結果

① こどもとご家族の状況について

- 同居家族は、母親が85.8%、父親が87.0%となっている。
- 子育て分担については、「お母さんが中心でお父さんも手伝っている」(45.3%)がもっとも多く、次いで「ほとんどお母さんが担っている」(36.4%)、「両親が平等に分担している」(15.9%)の順になっている。

② お母さん、お父さんの就労状況について

- 父親の96.9%がフルタイムで働いており、「産休・育休・介護休業中」はほとんどいない。
- 母親の就労状況は「フルタイム」が31.6%、「パート・アルバイト」が44.3%となっており、「産休・育休・介護休業中」はほとんどいない。
- パート・アルバイトで働いている母親の29.6%がフルタイムへの転職を希望しているが、実現する見込みがあると回答している母親は少ない。
- 働いていない母親の60.6%が就労を希望しており、希望する働き方はパート・アルバイトが多い。

③ 仕事と子育ての両立支援について

- 「仕事と生活の調和」「ワーク・ライフ・バランス」の認知状況は「詳しく知っている」が 15.1%、「少しは知っている」が 29.3%となっている。
- 仕事と家事(育児)のバランスでは「家事(育児)時間を優先」が半数を超えているが、「理想」は「プライベート時間を優先」(32.0%)したいものの、「現実」は「仕事を優先」(36.4%)せざるを得ない状況が見られる。
- 子育てと仕事の両立支援で企業に期待することは「こどもが病気やケガをしたときに休暇を取りやすい環境をつくる」(78.5%)、「子育てと仕事の両立に向け、職場内の理解を深めるための啓発を行う」(51.1%)、「日常的な残業や休日出勤をなくす・減らす」(50.1%)が多い。

④ 放課後児童クラブ(学童保育)の利用について

- 放課後児童クラブは 20.0%が利用しており、その理由は 96.3%が「保護者が働いている」となっている。
- 放課後児童クラブを利用した感想について、42.2%が「現在のままでよい」と回答しているが、要望としては「施設・設備を改善してほしい」(24.8%)、「活動内容を工夫してほしい」(23.6%)、「利用時間を延長してほしい」(13.0%)が多い。
- 放課後児童クラブで希望する活動は、「学習活動(宿題など)の援助」(61.5%)、「スポーツ」(55.3%)、「絵画・工作」(28.6%)が多い。
- 放課後児童クラブを利用していない理由は「ご自身や配偶者がこどもの世話をしているため、利用する必要がない」(42.2%)、「ご自身や配偶者が働いているが、放課後の短時間ならこどもだけでも大丈夫だと思うから」(19.5%)、「ご自身や配偶者の親、親せきがみている」(11.2%)が多い。
- 低学年の期間に放課後児童クラブを利用したいと回答した人は「平日」が 19.2%、「土曜日」が 4.7%、「日曜・祝日」が 1.5%、「夏休みや冬休みなど長期休暇」が 23.3%となっている。
- 高学年の期間に放課後児童クラブを利用したいと回答した人は「平日」が 14.1%、「土曜日」が 4.1%、「日曜・祝日」が 2.0%、「夏休みや冬休みなど長期休暇」が 23.7%となっている。

⑤ 地域の子育て支援事業について

- この1年間に、こどもが病気やケガで学校を休まなければならなかったことが「あった」は 80.8%であり、その対応は「お母さんが休んだ」(70.2%)、「お父さんが休んだ」(19.7%)、「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にこどもをみてもらった」(17.5%)、「働いていない保護者がこどもをみた」(17.4%)が多い。
- 「お母さんが休んだ」「お父さんが休んだ」と回答した人の「病児保育施設等の利用意向」は 7.8%で、「利用しいと思わない」(61.2%)を大きく下回っている。

- 病児保育施設等を利用したいと回答した人の希望するサービスは「小児科に併設した施設でこどもをみてくれるサービス」(90.2%)が多い。
- 病児保育施設等を利用したい思わない理由は「保護者が仕事を休んで対応できるため」(46.0%)、「病気のこどもを家族以外の人にみてもらうのは不安である」(45.7%)が多い。
- 通院、不定期な仕事、リフレッシュなどのための預かりサービスについては、「預けるようなことはなかった」(71.2%)、「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」(21.9%)が多く、サービス利用はほとんど見られない。
- 短期入所生活支援事業(ショートステイ)については「利用する必要はない」(53.2%)が多く、「利用したい」は7.6%となっている。

⑥ こどもの育ちをめぐる環境について

- こどもの面倒を見てもらえる人については、「緊急時や用事の時にはご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」(52.9%)、「日常のご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」(41.3%)が多く、15.7%の人が「いない」と回答している。
- こども以外に介護している人が「いる」と回答した人は6.5%となっている。
- 子育てについて気軽に相談できる人(場所)が「いる/ある」と回答した人は82.8%で、相談先は「親せきや家族」(86.0%)、「友人・知人」(75.0%)、「近所の人」(18.6%)、「小学校の先生」(17.7%)が多い。
- 朝ごはんを「毎日食べる」は88.2%で、1日1回は家族と一緒に食事を「する」は97.5%となっている。
- 平日にテレビ・スマートフォンを見る時間は「1時間以上2時間未満」(29.6%)、「2時間以上4時間未満」(48.7%)が多い。
- 起床時間は「6時半～7時」(48.8%)、「7時～7時半」(25.8%)が多く、就寝時間は「21時～21時半」(35.0%)、「21時半～22時」(29.3%)が多い。
- 普段の生活の中でのこどもとのかかわりは「授業参観などの学校行事にはできるだけ出席する」(93.0%)、「こどもと話をする」(92.7%)、「こどもと一緒に食事をする」(92.4%)が多い。
- こどもの発達について何らかの指摘を受けたことが「ある」は14.1%で、その時の対応は「病院(発達検査)を受診した」(51.3%)、「教育センター(教育相談など)を利用した」(46.0%)が多い。
- 障がい者手帳等の所持については「療育手帳」(2.4%)が多く、「いずれかの手帳を所持している」は3.7%となっている。

⑦ 子育てに関する経済的なことについて

- 経済的な理由での経験については、「趣味やレジャーの出費を控えた」(40.0%)、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」(34.2%)、「食費を切りつめた」(29.9%)、「理髪店・美容院に行く回数を減らした」(26.9%)、「友人・知人との外食を控えた」(24.8%)、「冷暖房の使用を控

えた」(21.3%)が多い。

- 経済的な理由で経験したこと一つでもあると回答した 60.8%の家庭は生活費を切り詰めていると思われる。
- こどもの進学についての希望は「大学・短期大学」(66.1%)が多い。
- こどものための「貯蓄をしている」は 67.2%、「貯蓄をしたいが、できていない」は 30.9%となっている。

子育てに対して感じることについて

- 子育てに、大きく影響すると思われる環境については「家庭」(91.7%)、「小学校」(86.3%)が多い。
- 近所に日常的に世間話をする人が「いる」は 52.9%となっている。
- 子育てを「楽しいと感じることのほうが多い」は 56.8%で、「つらいと感じることのほうが多い」(4.6%)を大きく上回っている。
- こどもに関する悩みは「こどもの教育に関すること」(42.5%)、「こどもの友達づきあいに関すること」(32.6%)が多い。
- 親自身に関する悩みは「子育てにかかる出費がかさむこと」(37.7%)、「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」(31.3%)、「様々なストレスなどからこどもにきつくあたってしまうこと」(27.0%)が多い。
- 子育てが地域の人に支えられていると感じている人は 44.6%であり、「同じ世代のこどもを持つ保護者」(72.3%)、「近所の人」(51.1%)に支えられていると感じている人が多い。
- 育てが地域の人に支えられていると感じていない人は 30.5%で、「同じ世代のこどもを持つ保護者」(14.3%)に支えられたいと感じている人が多い。
- 子供の安全についての心配は「学校や塾などの行き帰りなどの交通事故」(74.8%)、「学校などでいじめを受けたり、いじめをしていないか」(66.5%)、「公園など遊び場での犯罪被害」(58.2%)が多い。
- こどもが3人以上、または多胎児の子育てで有効だと思う支援は「塾など習い事への経済的支援」(35.5%)、「衣料品や食料品、日用品など生活必需品への支援」(33.6%)、「住宅費への支援」(24.7%)が多い。

⑧ こどもの権利について

- こどもの権利についての認知状況は「名前も内容も知っている」は 32.1%となっている。
- こどもの権利で大切だと思うことは「暴力や言葉で傷つけないこと」(68.0%)、「自分の考えを自由に言えること」(60.9%)、「家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと」(54.3%)。「人と違う自分らしさが認められること」(46.5%)、「差別されないこと」(45.6%)が多い。
- こどもからの意見や要望を聞き、それらを取り入れるように意識しているかについては、「常にしている」が 40.7%で、「ときどきしている」(53.7%)を合わせた 94.4%が意識しているとな

っている。

⑨ 子育て環境や支援制度について

- 和泉市の子育て環境や支援への満足度は5段階評価で、「3点」が45.6%でもっとも多く、平均点は3.27となっている。
- 和泉市の子育て環境や支援で評価できる点は、「子育て世帯への経済的な支援」(32.6%)、「図書館などの文化施設の整備」(32.4%)、「こどもの遊び場」(23.8%)が多い。
- 和泉市の子育て環境や支援でもっと充実してほしい点は「子育て世帯への経済的な支援」(48.1%)、「こどもの遊び場」(44.8%)、「交通事故の危険防止対策」(37.9%)、「学校以外でこどもが安心して過ごせる身近な居場所」(34.5%)、「防犯・防災面での安全対策」(30.1%)が多い。